

社会科 学習指導案

1 単元名 私たちの生活と文化

2 単元について

- ・本単元は位置や空間的な広がり、推移や変化に着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、現代社会における文化の意義や影響について理解することや文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現することをねらいとしている。
- ・テレビやインターネットの普及により、外国や他地域の風土や文化の情報が入手しやすく、異文化の情報について詳しい生徒もいる。反面、コロナ禍の現在は旅行や部活動での県外遠征等の自粛により、生徒自身が暮らす地域とは別の風土や文化に触れる機会が乏しい。
- ・本単元では、世界に広がる身近な日本文化や身近な生活の中にある異文化を扱う。グローバル社会においてどのように異文化を理解し、いかにして多文化共生を実現していくのかを、日本とは異なる文化をもつ人々の日本での生活について考察する。そうすることで、多文化共生社会の実現についての理解を深めたい。

3 研修主題との関連

自己実現に向けて主体的に考え、粘り強く行動する生徒の育成
～“自己調整力”や“自己効力感”の向上を目指して～

学習課題の提示や振り返り時間の設定、グループ学習等、自己調整学習の視点を取り入れた学習を展開することで、自己調整力や自己効力感の高まりを得るとともに、本研修主題にある主体的でかつ粘り強く学習に取り組めるようになることを考える。

4 本時の学習（3／3時）

(1) 目標

日本には異なる文化をもつ人々がたくさん生活していることを理解し、多文化共生社会を実現するために私たちができることについて考察することができる。

(2) 展開

学習活動	配時	指導上の留意点 ※観点〈方法〉 (◆研究主題に関わる手立てや取組)
1 世界に広がる日本の文化について理解する。 ・個人でワークシートを記入する。 ・周辺で話し合い、全体で発表する。 ・全体で発表する。	10	◆主体的に参加できるような資料かつ多面的に捉えられるような資料を精選し、提示する。 ・近くの生徒との相談やアドバイスの中で確実に自分の考えがもてるよう促す。
2 日本にある異文化について知る。 ・個人でワークシートを記入する。 ・周辺で話し合い、全体で発表する。	20	◆考えやすいよう、生徒の実生活の中にあるものを提示する。 ・話し合いのゴールを明確に提示し、活発な意見交換となるよう促す。
3 本時の課題を確認する。	1	◆見やすく板書する。
日本で多文化共生を実現することは可能か。		
4 異文化を理解し、共生する方法を考える。 ・個人でワークシートを記入する。 ・グループで意見交換をする。 ・全体で発表し、考えを共有する。	15	◆自分事として社会を捉えるよう促し、みんなが幸せに暮らせるには、という視点で考えさせる。
5 学習の振り返りをする。 ・ワークシートを記入する。	4	※思考・判断・表現（発言・ワークシート） 多文化共生社会を実現するために私たちが できることについて考察している。

(3) 本時の視点

用いた教材とその活用法が、学習目標の到達に向けた手立てとして効果的だったか。